

19:1 ヒゼキヤ王はこれを聞くと衣を引き裂き、粗布を身にまとして【主】の宮に入った。  
19:2 彼は、宮廷長官エルヤキム、書記シェブナ、年長の祭司たちに粗布を身にまわせて、アモツの子、預言者イザヤのところに遣わした。

19:3 彼らはイザヤに言った。「ヒゼキヤはこう言っております。『今日は、苦難と懲らしめと屈辱の日です。子どもが生まれようとしているのに、それを産み出す力がないからです。』」

19:4 おそらく、あなたの神、【主】は、ラブ・シャケのすべてのことばを聞かれたことでしょう。彼の主君、アッシリアの王が、生ける神をそしるために彼を遣わしたのです。あなたの神、【主】は、お聞きになったそのことばをとがめられます。あなたは、まだいる残りの者のために祈りの声をあげてください。』」

19:5 ヒゼキヤ王の家来たちがイザヤのもとに来たとき、

19:6 イザヤは彼らに言った。「あなたがたの主君にこう言いなさい。『【主】はこう言われる。あなたが聞いたあのことば、アッシリアの王の若い者たちがわたしをののしった、あのことばを恐れるな。』」

19:7 今、わたしは彼のうちに霊を置く。彼は、あるうわさを聞いて、自分の国に引き揚げる。わたしはその国で彼を剣で倒す。』」

19:8 ラブ・シャケは退いて、リブナを攻めていたアッシリアの王と落ち合った。王がラキシユから移動したことを聞いていたからである。

19:9 王は、クシュの王ティルハカについて、「今、彼はあなたと戦うために出て来ている」との知らせを聞くと、再び使者たちをヒゼキヤに遣わして言った。

19:10 「ユダの王ヒゼキヤにこう伝えよ。『おまえが信頼するおまえの神にだまされてはいけない。エルサレムはアッシリアの王の手に渡されないと言っているが。』」

19:11 おまえは、アッシリアの王たちがすべての国々にしたこと、それらを絶滅させたことを確かに聞いている。それでも、おまえだけは救い出されるというのか。

19:12 私の先祖は、ゴザン、ハラン、レツェフ、またテラサルにいたエデンの人々を滅ぼしたが、その国々の神々は彼らを救い出したか。

19:13 ハマテの王、アルパデの王、セファルワイムの町の王、ヘナやイワの王はどこにいるか。』」

「衣を裂き、荒布を身にまとして」とは、主の前に覚悟をもって悲痛な祈りをささげる時の姿です。彼は「産み出す力がない」と言って、この苦しみには希望があることと、しかし難航していることの両面を表しています。どんな苦しみにもその後の喜びがあり出産のような希望があります。そしてそれを産み出すのは主の力によるのです。ヒゼキヤは主により頼んでいますが、自分ひとりの力で信仰を貫こうとは思っていませんでした。イザヤという信仰の助け手にも頼っています。主は愛の交わりと、励まし合いを喜び、これを求めておられます。それはまた三位一体の神のご性質でもあります。

主にある希望を持ちつつ、謙遜になって信仰の励ましをもらいましょう。互いに希望と慰めを与え合いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

